

令和5年度西之表市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

西之表市は、鹿児島市から南へ約115Kmの洋上にある種子島の北部に位置し、南は中種子町に隣接している。地形は中央から南部にかけて山林が多く、東部及び西部には比較的平坦な基盤整備のされた耕地が多い。総面積20,566haで、水田510ha、畑2,530haの合計3,040haの耕地面積であり、平均気温19.4℃の温暖な気候を利用し、さとうきび、甘藷、水稻を中心とした農業が展開されている。

水田農業については、7月いっぱいの超早場米の産地として主食用米生産を中心に行われている。また、戦略作物のWCS用稲、飼料用米の作付けについては面積が増加している。

しかしながら、農家の高齢化や後継者不足に伴い、担い手への利用集積、土地利用率の向上等についても今後の大きな課題である。

引き続き、主食用米の需要減少が予測されることから、水田を有効に活用できる作物への転換や担い手への農地集積を推進する必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の需要減少分として、高収益作物への移行を推進し、農地の集積・集約化の方針及び作付けの団地化の取組方針など、効率的な農業体系、低コスト化を図りながら現況作付面積の維持・拡大を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農家の高齢化による離農や後継者不足に伴い、地域の水田における労働力は減少傾向にある。このような中で、圃場の水捌けが悪い地域もあり、作付筆数も減少傾向にある。水田の排水改良、畑地化推進のため、隣接圃場の作物や立地条件等を考慮しながら、検討・協議を行う。畑作物のみを生産し続けている水稻作が見込まれない水田については、農家へ今後の水田活用に対する意向確認を行ったうえで、畑地化への推進を図る。また、地域によっては、連作による収量低下が課題となっており、輪作体系の推進が必要である。今後、地域でのブロックローテーションの取組について検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に応じた生産を基本としつつ、農業者が主体となって超早場米の産地としての出荷・販売体制を確立し、生産コストの削減や栽培技術向上への取組み、経営判断・販売戦略が行われるよう、その推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

関係機関との連携・協議を行いながら、種子確保・農産物検査・流通などについて課題解決を図る。また、SGS（ソフトグレインサイレージ）への取り組みについても関係機関と連携・協議を行いながら、課題解決を図る。需給バランスの範

圏内で、可能な限り作付面積を増やせるよう、県畜産課と協力しながら支援を行う。

イ WCS 用稲

主食用米の需要減少分として、戦略作物であるWCS用稲への移行を推進し、多収品種栽培及び団地化の形成、効率的な農業体系、低コスト化を図りながら現況作付面積の維持・拡大を目指す。

(3) 飼料作物

主食用米の需要減少分からの移行を含め、現在の作付面積を維持・拡大し、不作付地の発生を抑える。また、産地交付金を活用して二毛作の取組を支援する。

(4) 地域重点作物

澱粉用甘藷・青果用甘藷・加工用（アルコール用）甘藷・さとうきびを地域重点作物と位置づけ、産地交付金を活用し、作付の支援を行いながら、助成対象作物とすることで、現在の作付面積を維持・拡大し、さとうきびとの輪作体系を再構築し、相互の収量増を目指す。

(5) 高収益作物

野菜類（青果用甘藷除く）、たばこを地域振興作物と位置づけ、産地交付金を活用し、現況作付面積の維持及び生産拡大を目指す。

(6) 地力増進作物

園芸作物等の転換作物の収量向上のためには土づくりが必要である。地力増進作物のすき込みによる地力増進について、地域でも今後検討する。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	191	0	192	0	192	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	16.0	0	15	0	15.0	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	30	0	38	0	38	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	0	0	0	0	0	0
飼料作物	106.7	65.2	110	67	110	67
・子実用とうもろこし	0.3	0	1	0	1.0	0
そば	0	0	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	2.5	0	5	0	5.0	0
・野菜	1.7	0	4.8	0	4.8	0
・花き・花木	0	0	0	0	0	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	0.8	0	0.2	0	0.2	0
その他	17.8	0	23	0	23.0	0
・澱粉用かんしょ	5.4	0	7.6	0	7.6	0
・サトウキビ	12.4	0	15.4	0	15.4	0
畑地化	0	0	0.2	0	0.2	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	澱粉用甘藷、青果用甘藷 加工用（アルコール用） 甘藷、さとうきび	地域重点作物助成（基幹）	作付面積（ha）	（4年度）18.8	（5年度）38.0
2	WCS用稲	WCS用稲生産性向上加算（基幹）	作付面積（ha）	（4年度）30.1	（5年度）38.0
			生産量（kg/10a）	（4年度）1,233	（5年度）1398.5
3	飼料作物	飼料作物二毛作加算（二毛作）	作付面積（ha）	（4年度）65.2	（5年度）67.0
			水田利用率（%）	（4年度）61.6	（5年度）71.0
4	地域振興作物（青果用甘藷 を除く野菜類、たばこ）	地域振興作物助成（基幹）	作付面積（ha）	（4年度）2.5	（5年度）5.0

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 鹿児島県

協議会名: 西之表市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域重点作物助成(基幹)	1	9,000	澱粉用甘藷、青果用甘藷、加工用(アルコール用)甘藷、さとうきび	排水対策の実施
2	WCS用稲生産性向上加算(基幹)	1	5,000	WCS用稲	多収品種の導入
3	飼料作物二毛作加算(二毛作)	2	5,000	飼料作物	二毛作による対象作物の作付面積に応じて支援
4	地域振興作物助成(基幹)	1	9,000	地域振興作物(青果用甘藷を除く野菜類、たばこ)	対象作物の作付面積に応じて支援